

## 令和3年度における寄附金受入状況

— 富士地区の社会福祉事業のために —

令和3年4月1日～令和4年3月31日

内 容	件 数	金 額 (円)
① 香 典 返 し	18 件	615,000
② 金 婚 祝 い	1 件	50,000
③ 一 般 寄 附	1 件	56,521
合 計	20 件	721,521

## 令和3年度における寄附金充当（地域福祉事業）状況

— 寄附金の一部を次の事業に充当させていただきました —

事 業 名	事 業 費
①年末年始地域福祉交流事業 70歳以上のひとり暮らし高齢者に対し鏡餅、屠蘇を配布し、安否の確認を行う。	①総事業費 204,350 円 ②歳末たすけあい配分金 151,000 円 ③寄附金充当 53,350 円
②憩の家・出てこん場事業 高齢者の外出や交流の機会をつくり、温泉入浴と併せて健康体操・講話等の実施により、介護予防を図る。 健康管理として、憩の家到着後、体温と血圧を測定。	①寄附金充当 30,580 円 これまで使用していた自動血圧計が故障したため、新たに2台購入。
③物故者への初盆お供え 香典返し寄附をいただいた世帯に対し、初盆のお供えと共に故人を偲ぶ。	①寄附金充当 12,540 円 初盆を迎えられた物故者6名の方へ線香セットをお供え。
合 計	96,470 円

## ご寄附お礼

富士地区の社会福祉事業のためにと、次の方々からご寄附いただきました。厚くお礼申し上げます。いただきました浄財は、大切に使用させていただきます。  
(令和4年1月6日から5月25日までの受付分で、寄附者のご了解を得て掲載しています。)

(下無津呂)	嘉 村 真 一 様	(故 嘉 村 千 サ 様)
(福岡県春日市)	山 口 拓 司 様	(故 山 口 ハルキ 様)
(須田)	山 中 保 彦 様	(故 山 中 マサエ 様)
(貝野)	山 中 明 郎 様	(故 山 中 恵美子 様)
(下合瀬)	豆 田 和 也 様	(故 豆 田 昭 子 様)
(鍋島町)	吉 浦 康 一 郎 様	(故 吉 浦 清 人 様)
(中原)	浜 本 総 一 様	(故 浜 本 清 昭 次 様)
(菖蒲)	正 島 幸 夫 様	(故 正 島 由 枝 様)
(下無津呂)	満 行 佐 文 様	(故 満 行 キヨカ 様)
(大串)	重 田 信 幸 様	(故 重 田 里 子 様)
(市川)	野 中 満 寿 子 様	(故 野 中 春 一 様)
(大串)	重 田 加 津 子 様	(故 重 田 種 雄 様)

ご寄附は、富士地区社会福祉協議会（富士公民館内）で、お受けいたします。  
問い合わせ先 富士地区社会福祉協議会（富士公民館内）TEL58-2882  
大坪 090-1515-7700 森木 080-1734-1546



令和4年6月1日発行

第4号

## 富士地区社協だより

発行責任者 富士地区社会福祉協議会 会長 吉浦利清

## 令和4年度富士地区社会福祉協議会総会を開催

— 「助けあい・支え合い」による地域づくりを確認！ —

4月26日の富士地区社会福祉協議会総会には、34人の方々に参加いただき、「助けあい・支え合い」による地域づくりを進めていくことを確認しました。

総会は、来賓11名のご臨席の下、佐賀市保健福祉部長、佐賀市社会福祉協議会会長にご祝辞をいただき、議事として令和3年度事業報告及び決算、令和4年度事業計画並びに予算（特別会計含む）、役員改選の6議案を上程し、6議案全て承認されました。

## 富士地区社会福祉協議会役員をご紹介します。

令和4年度総会で新役員として、承認されました。任期は、令和6年度総会までの2年間です。

地区社協は、地域住民や地域福祉を推進する関係団体によって組織され、富士町民による「互助」（助けあい）を活性化させる活動基盤となる組織です。関係団体のそれぞれの活動の強みを発揮しながら縦横のつながりをつくることで、富士町の地域福祉を進めていきます。



役 職 名	氏 名	所属団体及び役職名等
会 長	吉 浦 利 清	富士地区民生委員児童委員協議会 会長
副 会 長	杉 山 利 則	富士自治会長会 副会長
〃	杉 野 幸 子	富士町ボランティア連絡協議会 会長
理 事	納 富 和 義	富士自治会長会 副会長
〃	吉 原 秀 子	富士地区民生委員児童委員協議会 副会長
〃	納 富 辰 子	富士町ボランティア連絡協議会 副会長
〃	篠 原 大 助	富士町老人クラブ連合会 会長
〃	木 原 みち子	佐賀市食生活改善推進協議会富士支部 支部長
〃	満 行 八千代	富士女性ネットワーク“集い” 代表
〃	松 本 覚	富士町青少年健全育成協議会 会長
常 任 理 事	大 坪 洋 継	富士町ボランティア連絡協議会 幹事
〃	森 木 多代子	富士地区民生委員児童委員協議会
監 事	宮 崎 和 美	富士地区民生委員児童委員協議会 副会長
〃	岩 松 ちとせ	佐賀市食生活改善推進協議会富士支部 副支部長
顧 問	吉 浦 明	富士自治会長会 会長
〃	宮 地 洋 州	富士公民館 館長
〃	藤 瀬 弘	佐賀市社会福祉協議会 評議員

## 令和3年度 富士地区社会福祉協議会事業報告

佐賀市社会福祉協議会富士支所廃止に伴い、令和3年1月28日に富士地区社会福祉協議会を発足させ、4つの重点事業に取り組みました。

### 【重点事業】

#### 1 「見守り協力員」の設置体制による遠目の見守り事業

ひとり暮らし高齢者や65歳以上の高齢者世帯、見守りを必要とする方を対象に、支え合い活動として見守り協力員による遠目の見守り活動に取り組みました。

また、この事業の充実に向け、見守り協力員、自治会長、民生委員児童委員、駐在所、消防署等協力団体を対象に見守り協力員研修会を開催しました。



#### 2 憩の家・出てこん場事業

65歳以上で介助を必要としない方を対象に、「憩の家」で温泉入浴と仲間づくりや運動・体操に取り組み、通いの場として、また、外出の機会をつくり閉じこもり防止に貢献しました。この事業には、58人が登録され、年間運営日数121日を予定しておりましたが、コロナ禍で48日間の運営でした。1日の参加平均人数は、5.8人でした。



#### 3 年末年始地域福祉交流事業

共同募金配分事業として、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に年末年始の安否確認と合わせ鏡餅と屠蘇の配布を行いました。安否確認は、民生委員児童委員さんに、また屠蘇は、体と心を温めて欲しいという願いを込めて富士校中学部生徒に作っていただきました。小学部児童にはあて名書きをしていただき、地域と一体となり148人の方に、あたたかなお正月を迎えていただくことができました。

この事業には、寄附金の一部を充当させていただきました。



#### 4 地区社協理解促進事業

令和3年1月28日に発足しました富士地区社会福祉協議会を住民の方に広く知っていただくため、「富士地区社協だより」を6月、10月、1月の3回発行し、全世帯に配布しました。また、拠点整備として、富士公民館入り口と窓口に「のぼり旗」を設置しました。このことは、地域の多くの方々の目に留まり、富士地区社会福祉協議会を知っていただくためのものです。

富士地区社会福祉協議会の活動は、助成金と寄附金が必要な財源です。寄附金をいただき、初盆を迎えられた故人8人の初盆参りを行い、「線香・ローソクセット」をお供えしました。



### 【運営状況】

富士地区社会福祉協議会の運営は、事業報告、決算、事業計画、予算等を審議いただく総会、地区社協の基本的事項を協議する役員会を年2回、事業や企画運営を調整する常任理事会を年9回開催しました。また、日頃から、支え合い活動に取り組まれているコミュニティカフェ、女性消防団、高齢者サロン、ボランティア連絡協議会の代表者にお集まりいただき、支え合い活動の必要性について共に考える会議を開催し、支え合いの輪を広げることができました。

会議の開催につきましては、計画通り遂行することができました。

- |          |      |                     |      |
|----------|------|---------------------|------|
| 1) 総会    | 1回/年 | 4) 校区社協会長会          | 5回/年 |
| 2) 役員会   | 2回/年 | 5) 支え合い活動支援団体連絡調整会議 |      |
| 3) 常任理事会 | 9回/年 | 6) 高齢者憩の家事業活性化委員会   |      |

## 令和3年度 富士地区社会福祉協議会 収支決算書

### 収入の部

単位：円

項 目	3年度決算額	摘 要
01 前年度繰越金	0	
02 自治会助成金	150,000	富士自治会
03 市社協助成金	1,102,293	
04 寄 附 金	721,521	20件
05 参加費収入	58,000	憩の家会費
06 雑 収 入	6	預金利息等
合 計	2,031,820	

### 支出の部

単位：円

項 目	3年度決算額	摘 要
01 事 務 費	360,232	備品購入費・社協だより発行1回分他
02 事 業 費	962,872	
01 研 修 費	25,245	研修会通信費・研修謝金他
02 活 動 費	4,500	地域応援研修会
03 年末年始地域福祉交流事業	204,350	歳末餅つき用材料代他
04 福祉(見守り)協力員等活動費	82,944	協力員活動・通信費・講師謝金・湯茶・コピー用紙
05 憩の家・出てこん場事業 (高齢者いきがい促進事業)	529,293	講師謝金(講座)・支援員謝金・通信費(切手) 保険料・福祉サービス補償・送迎サービス 補償・ボランティア保険(支援員)・消耗品
06 地区社協理解促進事業	116,540	社協だより発行2回分・のぼり旗他
03 慶 弔 費	12,540	物故者初盆参り(寄附者対象)
04 予 備 費	5,420	
合 計	1,341,064	

収入合計 2,031,820

支出合計 1,341,064

差引残金 690,756 (令和4年度へ繰り越し)

## 令和4年度 富士地区社会福祉協議会特別会計収支予算書(寄附金に係るもの)

### 収入の部

単位：円

項 目	4年度予算額	3年度予算額	増 減	摘 要
01 前年度繰越金	0	0	0	
02 繰 入 金	625,000	0	625,000	一般会計繰入金
03 雑 収 入	1,000	0	1,000	預金利息等
合 計	626,000	0	626,000	

### 支出の部

単位：円

項 目	4年度予算額	3年度予算額	増 減	摘 要
01 繰 出 金	1,000	0	1,000	一般会計繰出金
02 予 備 費	625,000	0	625,000	
合 計	626,000	0	626,000	

## 町内各地域で「共同募金配分金」を活用して 自治公民館の備品整備が行われました

— 柚木・下無津呂・菖蒲 —

### ○エアコン（柚木自治会）

（地域の皆さんの声）

夏場の集会等では手狭の会場に非常に厳しい状況での協議をお願いすることがありましたが今回のエアコン設置で環境の改善が出来て、喜んでおります。

夏場、冬場の一時避難所としての活用でも、安心して利用頂ける環境が整いました。



### ○温水洗浄便座（取り付けタイプ）

（下無津呂自治会）

（地域の皆さんの声）

公民館は、地域の拠点で地区民誰もが利用しています。台風、大雨等の際は避難所としても活用しており、衛生面からも2台の取り付けにより安心して利用しています。



### ○高座椅子（菖蒲自治会）

（地域の皆さんの声）

公民館には、座卓テーブルがほとんどで、折りたたみ式椅子を持って参加していましたが、高座椅子の整備で安心して会合へ参加しています。



## ● ご寄附お礼 ●

富士地区の社会福祉事業のためにと、次の方々からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。いただきました浄財は、大切に使用させていただきます。

（令和4年5月26日から9月28日までの受付分で、寄附者のご了解を得て掲載しています。）

（上合瀬） 嘉村 ナツエ様（故 嘉村 三千人様）  
（上無津呂） 杉山 博美様（故 杉山 ハツミ様）

### ○初盆参りを行いました。

富士地区社会福祉協議会からご寄附のお礼として、8月10日に故人を偲び、初盆を迎えられた方のご霊前にお参りをさせていただきました。

ご寄附は、富士地区社会福祉協議会（富士公民館内）で、お受けいたします。

問い合わせ先 富士地区社会福祉協議会（富士公民館内）TEL 58-2882  
大坪 090-1515-7700 森木 080-1734-1546



## 「見守り研修会」を開催しました —6月20日、21日—

—見守り協力員の皆様 日頃の活動ご苦労様です—

富士地区社会福祉協議会では、単位自治会ごとに遠見の見守り活動を実施しています。

この取り組みは、見守りを必要とされる方が、安心して日々が送れるように住民同士が支え合う仕組みです。

研修会は、自治会長をはじめ関係者が一堂に会し見守り活動について確認し合いました。北部消防署から「119番通報と救急車の呼び方」について、話していただきました。



### 古湯地区の 取り組み

遠くからの見守りを心掛けています

古湯自治会長 八田 英俊

古湯自治会の見守り体制は、9人の組長と女性部長の10人で構成し、組長を見守り協力員に充てています。

毎月の定例役員会では、各組の気になることを尋ね、必要があれば民生児童委員へ連絡するようにしています。

ひとり暮らし高齢者を見守りは勿論ですが、高齢者世帯は複数世帯だからと安心することなく、遠見の見守りを心掛けています。

ほとんどのひとり暮らし高齢者の方は、「健康や病気への不安」や「異常事態が起こった時の不安」を抱えられているようです。道端では、高齢者同士で励まし合う光景も見受けられます。

この見守り活動には、優しい「お節介」が必要と思います。近所でお節介をやることできるのは、地域住民だからです。地域の課題を優しい「お節介」で支援できたらと思っています。

### 杉山地区の 取り組み

毎月2回の訪問が安心につながっています

杉山自治会長 杉山 利則

杉山地区は、戸数32世帯の集落で、班長4人を見守り協力員に選任しています。任期は2年で、地区の役員改選と同時に選任しています。

班長の選任は、その班で順番が決められ、班長は、毎月月初めの回覧板回しと25日の区費徴収の2回、家庭を訪問します。

訪問の際、気づきがあれば、自治会長や民生児童委員に報告をするようにしています。見守り協力員制度の発足により、特にひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の把握ができ、この制度に期待をしています。

## お互いに支え合うことが「福祉でまちづくり」の第一歩

富士地区社会福祉協議会は、富士町に住んでいれば誰かが助けてくれるという助けあい・支え合いの輪を広げる「福祉でまちづくり」を進めています。

このことから、支え合い活動を実践されている下記団体と連携しながら支え合いの輪を広げていきます。



支え合い活動支援団体会議（9月7日開催）

### 町内の支え合い活動の実践団体

- 1 高齢者サロン 2 コミュニティカフェ 3 ボランティア連絡協議会

### 活動紹介 それぞれの活動をシリーズでご紹介します

高齢者サロンは、高齢者中心の集いで、健康生きがい活動、仲間相互の見守り、介護予防活動に楽しく取り組む組織です。町内では6つの自治会で活動されています。

#### 下無津呂

ふれあいサロン下無津呂代表 満行 千枝子

民生委員さんの声掛けにより、下無津呂公民館で毎月10日前後に開いています。家に引きこもりがちなお高齢の方に声掛けをし、会員は現在23人で、小物づくりやお話、お出かけ、ボランティア活動等に取り組んでいます。「元気やったね！」と笑顔のご挨拶で始まり、相互に安否確認につながっています。

平成19年から始めたサロンも今年で16年目になり、年間の取り組み内容も多少マンネリ化傾向にありますが、お喋りや笑い声が聞こえてくれば、「ああ、よかった！」と一安心です。令和元年度からは、男性5人の方に加わっていただき、強い味方です。

しかし、年を重ねるごとに運営負担が課題だったので、負担軽減策として、二人体制の当番制としたことによって、気分が楽になりました。

これからも該当される方に声掛けをし、さらに支え合いの輪が広がるよう進めてまいります。



#### 杉山

サロン杉の実会 代表 山崎 栄子

32世帯、人口80人が住む杉山地区では、地域の先輩から「高齢者サロンば、立ち上げてくれんね！」と声をかけられたことがきっかけで、平成23年6月に、「サロン杉の実会」を35人で立ち上げました。

各古賀には、お世話係として、協力員を置いています。



自治会内の花壇の手入れや七夕飾り、クリスマス、ひな祭りといった季節行事、また福祉バスを使ってのバスハイク、軽スポーツなどに取り組んでいます。

顔を見るなり、「元気にしとったね！」と声を掛けると「わが前は何とかね！」が、サロンの合言葉です。

年間活動も多少はマンネリ化していますが、帰り際には、弾んだ声で「いつも楽しみにしてるよ！」「次は、なんぼしてくるっね！」の投げかけが励みになり、サロンの継続に繋がっています。

協力員のさりげない気遣いや手助けがサロンを盛り上げ、細々ですがお互いに支え合いながら、地域の見守りをしていきたいと思えます。



## おもてなし 映画祭を地域で盛り上げます

### —ボランティア活動で街中がきれいになりました— 朋友会会長 藤瀬 弘

富士町朋友会（富士町役場職員OB）では、毎年ボランティア活動の一環として、古湯映画祭前の環境美化活動を実施しており、今年もさる9月10日に実施しました。

当日は、会員約30名の参加協力を得て、雄淵・雌淵トンネルから鷹の羽・銀河大橋までの約6kmの間の道路のポイ捨てされている空き缶、その他のごみ拾いを行いました。

また、同じ日に富士町ボランティア連絡協議会の皆さんや佐賀市北商工会女性部の皆さんの参加もあり、大量のごみが収集でき、おかげさまで、街中はきれいになりました。

ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。



## 10月1日から 赤い羽根共同募金運動が始まります

赤い羽根共同募金運動が10月1日から全国一斉に始まります。

富士地区社会福祉協議会では、富士地区民生児童委員協議会と共におおよそ町内32か所の個人店舗や会社等へ募金のご協力の訪問を予定しています。

ご協力いただきました募金は、令和5年度の地域福祉活動の財源として配分が予定されています。

〈令和4年度の活用状況〉

共同募金から89,000円の配分を受け、富士地区社会福祉協議会では、安全・安心感を持った会議開催や交流ができるようにコロナ感染防止用資材を配布しました。

配布先 自治会、コミュニティカフェ、憩の家

- 配布用品
- 1 不織布3層マスク
  - 2 ウエットティッシュ
  - 3 アルコールタイプ抗菌化スプレー



## ボランティア連絡協議会

絵手紙サークル とまと会  
代表 杉野 幸子

「下手でいい!下手がいい!」と言  
いながら、和気あいあい楽しい時間  
を過ごしています。「うーん」とう  
なりながらも、色付けすると誰も描  
けない自分の作品が出来上がります。  
出来上がった作品は、富士公民館や  
富士大和温泉病院に展示しています。



年末には、おひ  
とり暮らし高齢者  
の皆さんへ、絵手  
紙の年賀状で交流  
を図っています。



## ご寄附お礼

富士地区の社会福祉事業のためにと、次の方々からご寄附をいただきました。厚くお  
礼申し上げます。いただきました浄財は、大切に使用させていただきます。

(令和4年10月2日から12月22日までの受付分で、寄附者のご了解を得て掲載しています。)

- (下無津呂) 満行 幸子様 (故 満行 秀弘様)
- (西畑瀬) 東 泉 寺様 (町おこし、寺おこし寄附金)
- (上無津呂) 吉村 博恭様 (故 吉村 モモ子様)
- (古 湯) 原 由紀江様 (故 原 勤二様)
- (下無津呂) 嘉村 健二様 (故 嘉村 昭江様)

ご寄附は、富士地区社会福祉協議会(富士公民館内)で、お受けいたします。

問い合わせ先 富士地区社会福祉協議会(富士公民館内) TEL 58-2882  
大坪 090-1515-7700 森木 080-1734-1546

## 「フードバンクさが」へ寄贈しました

「フードバンクさが」は、不要になった食品を有効活用していく循環型社会を  
目指す特定非営利活動法人です。

下無津呂の満行正司さん、菅蒲の森木久さんからそれぞれお米(30 ㌔)の寄  
贈の相談を受け、「フードバンクさが」へ寄贈しました。

つながりの場として開かれている「コミュニティカフェふじ」や「コミュニティ  
カフェほくざん」は、「フードバンクさが」を活用されています。ここにも「支  
え合い・助け合い」の関係が芽生えています。ありがとうございました。



## 謹賀 新年

新年のごあいさつ

富士地区社会福祉協議会会長 吉浦利清



明けましておめでとうございます。

清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

富士地区社会福祉協議会が発足して丸2年になろ  
うとしておりますが、町民の皆さんの多大なるご支  
援ご協力により、多くの事業が着実に推進できてお  
りますことを、深く感謝申し上げます。

基幹の「憩の家出てこん場事業」では、町内の多  
様なグループの方が文化、食生活、軽運動等の指導  
をしていただき、健康で豊かな生きがいづくりの場  
が創出されています。

「見守協力員事業」では、各地域で連絡調整会議  
を開催していただき、地域ぐるみの見守り活動の強  
化が図られています。

「年末交流(餅配布)事業」では、ボランティア  
連絡協議会、富士町朋友会等による餅つき、町内中  
学生による屠蘇づくり、小学生によるお便りの封筒

書き、民生児童委員による餅配布というように、地  
域ぐるみでスクラムを強化した事業が展開されま  
した。

なお、令和4年も多くの方から沢山の寄付(香典  
返し等)をいただきました。本当に有難く、深くお  
礼申し上げます。いただきました浄財は、当地区社  
協の事業や運営に、有効に充てさせていただいてお  
りますことを、ここにご報告申し上げます。

さて、今年は当地区社協も3年目となりますが、  
今後持続可能な運営ができるか、課題をかかえてい  
ます。加えて、町民の皆さんの高齢化が進み、その  
状況に対応した事業の創設も課題となっています。

しかし、いずれにしても、富士町の福祉を絶やす  
ことはできませんので、引き続き町民の皆さんの温  
かいご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

## 高齢者「憩の家・出てこん場」事業は生きがい健康づくりの居場所です。

一介護予防に取り組んでいます

概ね65歳以上で温泉入浴等介助が必要でない  
方を対象として、介護予防に重点を置いた高齢者  
のふれあいの場を設けています。

今年度は、地域のグループ活動の支援を受け、  
活動で培った特技をプログラム化して取り組んで  
います。

憩の家を利用す  
るためには、登録  
が必要です。申請  
書は、富士地区社  
協(富士公民館内)  
に備えています。

場 所: 富士公民館(フオレスタふじ)

会 費: 年間500円

利用回数: 各地区月2回ペースで、年間24回程度  
※毎週火・水・木曜日に開設し、町内  
を地区割しています。



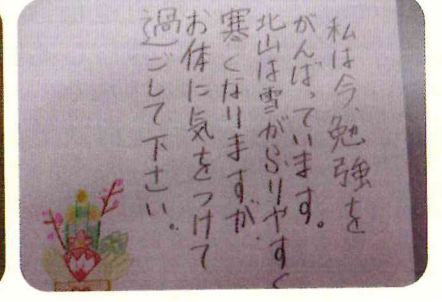
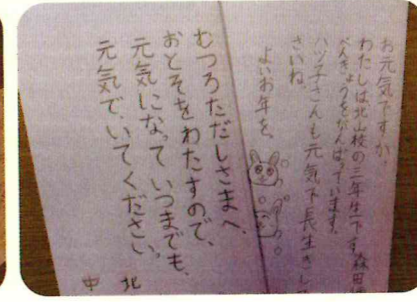
## 地域と学校がつながった暖かい交流活動ができました

### — 歳末たすけあい活動 —



年末交流事業として、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に民生委員により、餅と屠蘇を配り、安否確認を行いました。コロナ禍で令和2年・3年は、餅をつくことができませんでしたが、コロナ禍だからこそ地域のつながりを求め、朋友会（富士町役場OB）とボランティア連絡協議会のご支援を受けて取り組みました。

鏡餅と共にお届けしました屠蘇は、富士校、北山校中学部で、またお届けするあて名書きは、町内の全小学校（富士小・北山小・北山東部小）で取り組むなど地域ぐるみで、交流することができました。



## まちの支え合い実践団体

※富士地区社協は、近所の方と声を掛け合い、困りごとを気軽に口に出せるそんな居場所づくりや見守り活動に取り組まれている次の団体を支援しています。

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1 高齢者サロン    | 3 ボランティア連絡協議会 |
| 2 コミュニティカフェ | 4 女性消防団       |

### 活動紹介 それぞれの活動をシリーズでご紹介します

高齢者サロンは、高齢者中心の集いで、健康生きがい活動、仲間相互の見守り、介護予防活動に楽しく取り組む組織です。町内では6つの自治会で活動されています。

#### 上熊川

#### ふれあいサロン百路会 代表 木原 みち子

毎年、6月と12月には、緑を楽しむ会として、鉢植えを楽しんでいます。自治公民館にも鉢植えを飾り、地域の皆さんにも鑑賞していただいています。また、ハンドベルセットを揃え、ハーモニカの伴奏を入れ、両手にハンドベルを持つと、モタモタしますが、そんな時に脳が活性化するらしく、間違っても笑いながら楽しんでいます。また、ビンゴゲームでは景品に目を奪われ、息が上がります。出前講座では、食改協の食の伝達会や朗読グループの朗読や歌、手遊び、鳥谷電器さんの「富士町お宝ビデオ視聴」などを楽しんでいます。

これからもいろいろな活動をされている方を探し求めながら、楽しいサロンを続けて行きたいと思っています。また、声を掛け合いながら、サロンの輪も広げて行きたいと思っています。

